

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階

TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@j-jafra.jp

URL：http://j-jafra.jp/

当社は、2015年3月14日の北陸新幹線の開業に伴い、JR西日本管内の新幹線5駅（金沢駅、新高岡駅、富山駅、黒部宇奈月温泉駅、糸魚川駅）にデジタルサイネージ等の広告媒体を計118面（表1に内訳）設置しました。おかげ様で事前の受注段階ではほぼ完売することができ、この場をお借りして、代理店の皆様のご協力に大変感謝申し上げます。



北陸新幹線



写真①

金沢駅では、東西自由通路にデジタルサイネージ58面（写真①、②）、新幹線改札内にはデジタルサイネージ4面とLEDサインボード8面を設置しました。

【金沢駅】

北陸新幹線の 新設駅メディア

株式会社ジェイアール西日本コミュニケーションズ
交通メディア本部／北陸支店

表1／北陸新幹線新設駅メディア面数内訳

駅名	デジタルサイネージ (ノンタッチ)	タッチパネル式 デジタルサイネージ	LEDサインボード	合計
金沢	62	* (3)	8	70
新高岡	—	1	15	16
富山	10	—	4	14
黒部宇奈月温泉	3	* (1)	8	11
糸魚川	1	—	6	7
合計	76	1	41	118

* ()内は、JR西日本(金沢駅)、黒部市(黒部宇奈月温泉駅)設置分の面数



写真②

JR西日本や地元の観光情報も含め、複数の広告主にタイムシェアして販売し、同期放映による広告ジャックを可能とした他、鉄道の輸送障害の際には、異常時案内も可能なシステムを付加しました。一方、通路脇の改札口や商業施設に対面する18面及び改札内の4面のデジタルサイネージ並びにLEDサインボードは面毎に販売しています。

その他JR西日本が、改札口やみどりの窓口付近に、タッチパネル式デジタルサイネージ3面を設置しました。JR西日本の公式ウェブサイトにから取得した時刻表、駅構内図、列車運行情報に加え、周辺地図等も収容し、お客様が画面下のアイコンにタッチしていただくことによりオンデマンドで表示します。運行情報

と周辺地図については、英語、中繁体、中簡体、ハングルへの切り替えも可能です。

【新高岡駅】

新高岡駅では、LEDサインボード15面とタッチパネル式デジタルサイネージ1面（写真③）を設置しました。前者は面毎に販売し、後者は待機画面を広告主にタイムシェアして販売する他、オンデマンドでJRの業務用情報や地元の観光・イベント情報も表示できるようにしました。



写真③

【富山駅】

富山駅では、新幹線改札内にデジタルサイネージ10面、LEDサインボード4面の計14面を設置しました。ホームへの主導線上の4面（写真④）については複数の広告主でタイム

シェアして同期放映し、その他の媒体は面毎に販売しています。



写真④

【黒部宇奈月温泉駅】

黒部宇奈月温泉駅では、改札外にデジタルサイネージ3面、改札内にLEDサインボード8面の計11面を設置し、面毎に販売しています。

その他、黒部市がタッチパネル式デジタルサイネージ1面（写真⑤）を設置し、待機画面で公共交通情報を表示し、オンデマンドでJRの業務用情報を表示しています。



写真⑤

【糸魚川駅】

糸魚川駅では、デジタルサイネージ1面（写真⑥）、LEDサインボードの6面の計7面を設置しました。前者は新幹線改札の外側正面に設置し、複数の広告主にタイムシェアして販売しています。LEDボードについては新幹線改札内および階段見付で、面毎に販売しています。



写真⑥

媒体の開発及び販売を通じて、北陸新幹線への地元の皆様の大きな期待をひしひしと感じつつ、代理店様や広告主様のご要望に全てはお応えすることができず、大変申し訳ございませんでした。今後、臨時的なSP広告の他、利用実態に合わせて、媒体の追加開発も検討してまいりますので、ご意見・ご要望をお待ちしております。

広 場

「グランドサークル」

監事 佐々 亨 (株東京メディアサービス)

「グランドサークル」を知ったのは随分と昔だった気がします。アメリカ南西部のレイクパウエルを中心に半径230キロの範囲をグランドサークルと呼び、円内には8箇所の国立公園をはじめ多くの景勝地があります。これを次々と巡るのがグランドサークルの旅です。各公園はラスベガスなどの大きな都市からは離れている上、公共交通機関はないので主たる移動手段はレンタカーでのドライブになります。

この旅の醍醐味は国立公園の景観です。遙か彼方まで広がる峡谷、何百メートルも切り立った絶壁、聳える一枚岩の山、様々な色の地層が帯を成す崖、どれも巨大なスケールで現れ、訪れる者を圧倒します。地殻変動により沈下し堆積し隆起し褶曲した大地を雨や川が浸食し或いは風化して大峡谷、巨岩、尖塔、アーチなどを形成しました。岩の大地に刻まれた悠久の時を感じ、自然の作り上げる不思議に驚き、広大なパノラマの前では人間が些細な存在に思えます。公園は景観だけでも十分に満喫できます。



有名なデリケートアーチ

ですが、もう一つの楽しみはトレッキングです。岩山を上ったり、川の中を歩いたり、奇岩の間を巡ったりとハイカーのレベルに応じて気軽に大自然と触れ合うことができます。

また、各公園間には距離があり車で平均3時間程度かかりますが、このドライブ自体も旅の魅力です。地平線に向け真っすぐ伸びる道、地層が変われば色も変わる段丘、開拓者が辿ったであろう不毛の原野、森林地帯、荒地、断崖と変化する地形などドライブでも公園と同じような雄大な自然を味わえます。

最初は同級生との気楽なドライブ旅行でした。自然の造形美に感動して「もう一度来よう」と心に決めました。しかし、一周するには急いでも1週間程度の日数を要します。社会人にとっては数年に一度の大型連休にでも巡り合えないと行けるものではありません。20年後に長期の休みが取れる機会があり、家族と旅をして夢を叶えました。訪れれば初回同様に感動があり、また家族サービスもできたので良き思い出として心にしまいました。

ところが更に10数年後の昨年、再び纏った休みが取れた際に家人から「長距離ドライブができるうちに、もう一度行こう」と背中を押されました。海外での長距離運転は衰えつつある身体能力を考えれば還暦の今が限界と思い、最後のグランドサークルドライブに挑戦しました。空港でピックアップした直後は久々の右側通行、左ハンドルなどにおたおたしつつ、何とか最初の公園まで辿り着きました。翌日からは、早朝に行動を開始し午前中にトレッキングや景観を堪能、暑くなる午後には次の目的地へドライブするという強行軍で2000キロを走破しました。各地は再訪、再々訪でしたが大自然は常に新鮮で心が洗われ、人生のアルバムに貴重な写真を残せたと満足しました。

年が明けた先日、インターネットで76歳と69歳のご夫婦のグランドサークルドライブ旅行記を目にしました。なんとなく元気をもらい、再び夢ができた気がします。



州道 U-T24 の風景

次回もお楽しみに。

2014年 日本の広告費

株式会社電通
アウト・オブ・ホーム・メディア局
マーケティング推進部
菊池 晴彦

株式会社電通は、日本の総広告費と、媒体別・業種別広告費を推定した「2014年（平成26年）日本の広告費」を発表しました。これは、国内で1年間（1～12月）に使われた広告費を、マス四媒体に加えプロモーションメディア、インターネットの広告媒体費と広告制作費について、媒体社や制作会社のご協力を得て推定したものです。2014年の日本の広告費に関しまして、以下ポイントをご紹介します。

総広告費6兆1522億円、前年比102.9%
3年連続で前年実績を上回る

2014年の総広告費は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要やソチオリンピック2014などで伸長した後、消費税率引き上げによるマイナス要因などがあつたものの、2014 FIF Aワールドカップ ブラジル大会などにより緩やかに成長を続け、通年では6年ぶりに6兆円の市場規模となりました。

媒体別広告費の概要

媒体別では、「新聞広告費」（前

年比98.2%）、「雑誌広告費」（同100.0%）、「ラジオ広告費」（同102.3%）、「テレビメディア広告費」※（同102.8%、地上波テレビと衛星メディア関連の合計）。結果、「マスコミ四媒体広告費」は同101.6%となりました。「インターネット広告費」（同112.1%）は、スマートフォン・動画広告・新しいアドテクノロジーを利用した広告が伸び、初の1兆円超え市場となりました。さらに、「プロモーションメディア広告費」も同100.8%と3年連続で前年を上回り、全体の押し上げに寄与しました。

※2014年より区分を変更し、「地上波テレビ+衛星メディア関連」をテレビメディア広告費としました。

業種別広告費 （21業種、マスコミ四媒体のみ）

業種別（マスコミ四媒体、ただし衛星メディア関連は除く）では、全21業種中14業種が前年を上回りました。主な増加業種は、「情報・通信」（同107.2%、衛星放送、携帯電話料金サービス、スマートフォン向けサ

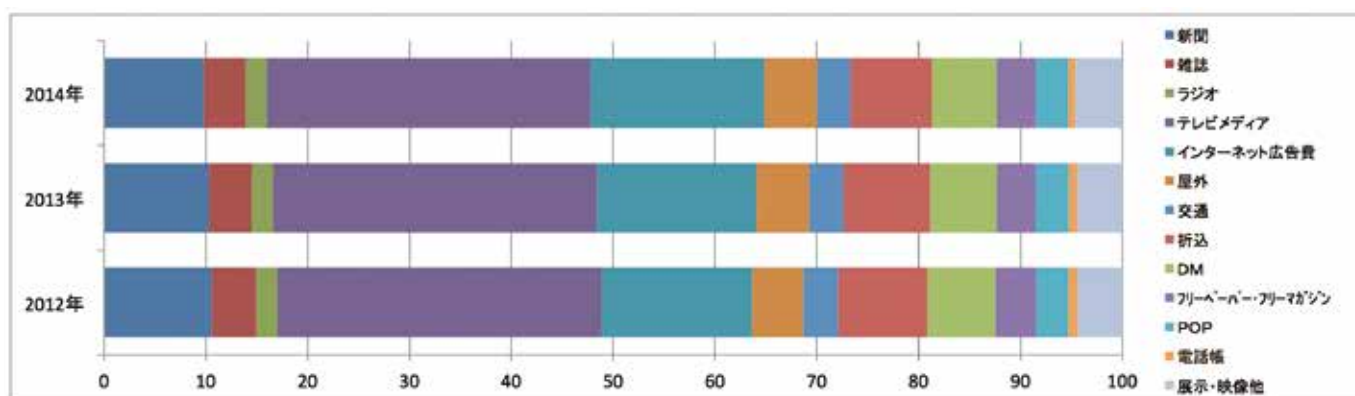
媒体別広告費（2012年～2014年）

暦 年	総広告費		媒体別前年比(%)							インター ネット	プロモーション メディア
	金額(億円)	前年比(%)	マスコミ 四媒体 (衛星メディア 関連を含む)	新聞	雑誌	ラジオ	テレビ メディア				
								地上波 テレビ	衛星メディア 関連		
2012年(平成24年)	58,913	103.2	103.2	104.2	100.4	99.9	103.5	103.0	113.7	107.7	101.4
13年(25年)	59,762	101.4	100.4	98.8	98.0	99.8	101.3	100.9	109.6	108.1	100.1
14年(26年)	61,522	102.9	101.6	98.2	100.0	102.3	102.8	102.4	109.6	112.1	100.8
			(29,393)	(6,057)	(2,500)	(1,272)	(19,564)	(18,347)	(1,217)	(10,519)	(21,610)

(注) 2014年の()は広告費(億円)

(注) 2014年より、テレビメディア広告費は「地上波テレビ+衛星メディア関連」として区分し、2012年に遡及して集計した。

媒体別構成比



(注) 2014年より、テレビメディア広告費は「地上波テレビ+衛星メディア関連」とし、2012年に遡及して集計した。

2012年～2014年 業種別広告費（マスコミ四媒体広告費）

広告費業種	広告費(千万円)			前年比(%)		構成比(%)		
	2012年 (平成24年)	2013年 (25年)	2014年 (26年)	2013年 (平成25年)	2014年 (26年)	2012年 (平成24年)	2013年 (25年)	2014年 (26年)
1. エネルギー・素材・機械	2,624	2,490	2,560	94.9	102.8	1.0	0.9	0.9
2. 食品	28,329	27,209	26,350	96.0	96.8	10.2	9.8	9.4
3. 飲料・嗜好品	20,987	20,688	21,096	98.6	102.0	7.6	7.4	7.5
4. 薬品・医療用品	14,847	14,745	14,992	99.3	101.7	5.3	5.3	5.3
5. 化粧品・トイレタリー	28,783	27,985	29,551	97.2	105.6	10.4	10.1	1.8
6. ファッション・アクセサリ	11,645	11,732	11,382	100.7	97.0	4.2	4.2	4.0
7. 精密機器・事務用品	2,886	2,834	3,050	98.2	107.6	1.0	11.2	1.1
8. 家電・AV機器	5,412	5,533	5,926	102.2	107.1	2.0	2.0	2.1
9. 自動車・関連品	16,473	16,710	17,277	101.4	103.4	5.9	6.0	6.1
10. 家庭用品	6,496	6,856	7,242	105.5	105.6	2.3	2.5	2.6
11. 趣味・スポーツ用品	10,853	10,227	9,414	94.2	92.1	3.9	3.7	3.3
12. 不動産・住宅設備	10,869	11,503	11,804	105.8	102.6	3.9	4.1	4.2
13. 出版	9,216	8,988	8,769	97.5	97.6	3.3	3.2	3.1
14. 情報・通信	24,525	24,332	26,091	99.2	107.2	8.8	8.8	9.3
15. 流通・小売業	20,297	19,273	19,374	95.0	100.5	7.3	6.9	6.9
16. 金融・保険	14,499	16,762	16,437	115.6	98.1	5.2	6.0	5.8
17. 交通・レジャー	21,123	20,976	21,172	99.3	100.9	7.6	7.6	7.5
18. 外食・各種サービス	12,896	14,229	14,504	110.3	101.9	4.6	5.1	5.2
19. 官公庁・団体	3,327	3,149	3,380	94.6	107.3	1.2	1.1	1.2
20. 教育・医療サービス・宗教	7,823	8,069	7,717	103.1	95.6	2.8	2.9	2.7
21. 案内・その他	4,050	3,960	3,672	97.8	92.7	1.5	1.4	1.3
合計	277,960	278,250	281,760	100.1	101.3	100.0	100.0	100.0

* 衛星メディア関連は除く

ビスなどが増加)、「家電・AV機器」(同107・1%)、電気掃除機、電気冷蔵庫、液晶テレビなどが増加)、「化粧品・トイレタリー」(同105・6%)、シャンブー&リンス・コンディショナー、通販系女性用ラインナップ化粧品などが増加)、「自動車・関連品」(同103・4%)、ワゴン、輸入SUVなどが増加)、「飲料・嗜好品」(同102・0%)、国産ビール、発泡酒などが増加)など。主な減少業種は、「趣味・スポーツ用品」(同92・1%)、ゲームソフト、オーディオソフトなどが減少)、「教育・医療サービス・宗教」(同95・6%)、専門学校・各種学校、通信教育など教育関連が減少)、「食品」(同96・8%)、健康食品、即席麺類、スナック菓子などが減少)、「ファッション・アクセサリ」(同97・0%)、婦人服、紳士・婦人靴などが減少)などとなっています。

日本の経済成長と日本の広告費

2014年の名目国内総生産(GDP)の伸び率は1・7%で、プラス成長となった。また2014年の名目国内総生産に対する総広告費の比率は1・26%で前年(1・24%)より上昇しました。

プロモーションメディア広告費

プロモーションメディア広告費は2兆1610億円、前年比100・8%と微増ながら3年連続で増加しました。

「屋外広告」「交通広告」はSNSでの情報拡散を狙ったイベント展開やデジタルサイネージなどで増加。無宛名便(宛名のないメール便)が活発化している「DM」、紙とネットのコラボが話題にもなった「フリーペーパー・フリーマガジン」、消費者一人一人の目線に立った「POP」といったメディアは堅調でした。また、開発に伴う商業施設におけるディスプレイ広告が伸長した「展示・映像他」が全体の押し上げに寄与しました。「ライブイベント」や「ポスティング」などといった分野が改めて注目を浴びているのが、ここ近年の傾向で現在、日本の広告費には含まないが、市場も拡大していると推測されます。オムニチャネルによる消費者とのコンタクトポイント増加は、クロスメディアをさらに進化させ、最適なメディア選択と新しい企画への試行を加速化させています。ネットとリアルとの融合や協働など、ますます他メディアとの連動に目が離せない分野となっています。

交通広告は、2054億円、前年比102・5%。車内、駅構内デジタルサイネージの新設・増設が続く好調に推移した一方、中づり・まど上・ドア横などの車内メディアは減少しました。空港関連が伸びており、東京2020オリンピック・パラリンピックを見据えた動きが活発化してきています。業種別では、「飲料・嗜好品」「金融・保険」に加え「情報・通信」(スマホアプリ)などが堅調でした。

平成26年度第3回理事会を開催しました

2015年3月11日（水）15時30分からジェイアール東日本企画10F大会議室において24名の理事が出席し開催した。

冒頭、今木会長から挨拶があり、引き続き議案の審議が行われた。

審議内容は以下の通り。

第1号議案

平成27年度事業計画（案）

田之上専務理事から以下の説明があり、承認された。

昨年度の我国経済は、4月の消費増税後、駆け込み需要の反動等から消費を中心に減速し、広告業界においても、鉄道広告が秋口にかけて低調な状況で推移した。年末から回復の兆しも見え始めたが、まだ状況とまでは言い難い状況が続いている。

今年度は、3月の北陸新幹線開業、上野東京ライン開業等と明るい話題があるが、我国の経済が本格的な景気回復基調に転ずるかどうかは、厳しい部分もあると思われる。引き続き

各企業は広告宣伝費を支出するにあたり、より厳しい目で広告効果と効率のよい展開を求めてくることが予想される。

このような状況の中、鉄道広告としては各企業に選択していただけるよう、より一層の価値向上が必要になってきている。

当協会としては、鉄道広告の持つ公益性に一層の配慮をするとともに、特にスマートフォンをはじめとするICTの急速な発展に対応し、鉄道広告の付加価値をより高めるなど、社会的ステータスの向上を目指し、会員各社の御理解と御協力を得て、最大限の取り組みをしていきたい。

具体的な事業計画については、以下のとおりで、その中でも公益事業として、環境や美観という観点から第9回地球温暖化防止キャンペーンの実施、倫理という観点から第6回マナーUPキャンペーンの実施等について積極的に取り組んでいきたいと考えている。

また、その他事業としては、鉄道広告の技術開発としてICT化対応の研究と応用、新しい准e・販促デー

今木会長挨拶

皆さま方には、日ごろから当協会の運営につきまして様々な面でご尽力いただいていること、また、本日は年度末に向かつて大変お忙しい中をご出席いただきましたことを重ねて御礼申し上げます。

今日3月11日は、あの不幸な東日本大震災からちょうど4年目にあたります。冒頭皆さま方と共に改めて犠牲になられました多くの方々のご冥福をお祈りすると共に、未だ不自由な生活を強いられている多くの皆さま方の1日も早い解消、それから本格的な復旧復興の早からんことを祈念したいと思います。

さて、昨年の我が国経済は、皆さまご承知の通り4月の消費増税の影響が、思いの外深刻でございました。色々な面で景気の足を引っ張ったと思います。そんな中ではございますが、先日の、電通発表の日本の広告費によりますと我が国の総広告費は3年連続で前年度を上回り6年ぶりに6兆円を超え、そして交通広告費も3年連続で前年を上回ったということでございます。大変厳しい環境の中、皆様方のご尽力に敬意を表したいと思います。本日の理事会盛りだくさんの議

題でございますが、メインはなんと申しまして来年度の事業計画でございます。昨今ようやく景気も回復基調にあると言われていますが、まだまだ色々な面で予断を許すわけではありませんし、特に広告宣伝分野は厳しいと思った方がいいかと思ひます。その中で鉄道広告がクライアントからビックアップしていただくとともに、なんといっても駅や車内といった空間がより付加価値の高い情報発信基地であるというこ



挨拶する今木会長

と、そのためには昨今発展の目覚ましいICT、通信技術を積極的に取り入れるということが大事だと思っております。

来年度も当協会は公益社団法人として様々な公益事業はもちろん、鉄道広告の発展のために色々な活動をより充実していきたいと思っておりますので、是非皆様方のご支援ご協力をよろしく願ひいたしまして、あいさつに代えさせていただきます。ありがとうございました。

タシステムの改良と普及、交通広告共通指標推定システムが立ち上がるアカウンタビリティ向上の充実・拡大などを主要課題として取組むこととしたい。

27年度事業計画

1. 各委員会の主な活動目標

(1) 総務・財務委員会

- ・新規会員への入会促進
- ・支部活動活性化支援
- ・年次報告書の作成
- ・他広告団体との交流

(2) 倫理委員会

- ・倫理綱領、掲出基準に基づく広告審査実態の継続的把握
- ・鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適用に関する教育研修の実施
- ・マナーUPキャンペーン継続実施
- ・広告倫理に関する事例研究の実施
- ・日本広告審査機構、日本雑誌協会等との意見交換

(3) 美観風致委員会

- ・環境委員会との共同による第9回地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・美観事例の収集と紹介
- ・美観風致に関する教育研修

(4) 環境委員会

- ・「JAFRA環境方針」配布後の環境保全への取り組み状況の実態把握
- ・環境に関する手引書の検討
- ・第9回地球温暖化防止キャンペーンの実施

(5) 安全委員会

- ・安全管理に関する調査研究の推進
- ・「絵で見る安全作業マニュアル」に対する評価・活用アンケート結果に基づき、今後の更なる活用策や安全管理体制の構築及び更なる資料等作成の検討
- ・安全作業に関する教育研修の実施

(6) 標準化委員会

- ・2015年度版「全国鉄道広告料金表」の協会ホームページへの収録、公開
- ・デジタルサイネージに関する標準化の検討

(7) 人材育成委員会

- ・「交通広告ビジネス概論」別冊版の発行
- ・鉄道広告実務研修の実施
- ・セミナー、シンポジウムの開催

(8) 技術開発委員会

- ・スマートフォンと交通広告を連動させたソリューションの検討
- ・進化するICTを活用した交通広告の検討と水平展開
- ・交通系デジタルサイネージの価値向上とネットワーク拡大の検討
- ・その他鉄道広告に応用可能な先端技術情報の収集と共有化

(9) 調査研究委員会

- ・効率的なメディアプランニングに関する研究の促進
- ・新e-販促データシステムの改良と普及
- ・広告料金、利用者数、輸送人員等のマーケティングデータ等の提供
- ・媒体活用事例の調査と紹介
- ・マーケティング講演会の開催

(10) 業務近代化委員会

- ・業務近代化に関する課題の提言
- ・デジタルサイネージ導入による近代化目標の検討

(11) PR委員会

- ・「JAFRA NEWS」の編集・発行の継続と、掲載内容の充実
- ・ホームページを活用した、情報発信の強化
- ・鉄道広告枠を活用した、各種啓蒙キャンペーンの実施に伴う特設サイトの開設
- ・関係する外部機関との連携強化

(12) アカウンタビリティ向上委員会

- ・標準化委員会、調査研究委員会、業務近代化委員会と連携してアカウンタビリティ拡充・データ整備
- ・関東交通広告協議会、日本広告業協会と連携して調査実施、データ整備
- ・交通広告共通指標策定システム稼働と運用

2. 各支部の主な活動目標

(1) 北海道支部

- ・支部幹事会の開催…4月
- ・支部総会・懇親会の開催…4月
- ・媒体連絡会の開催…不定期
- ・媒体視察研修会の開催…



2015年秋季

・実務研修会（講演会）の開催…
2016年冬季

・新規会員の入会懇渾

・地球温暖化防止キャンペーンの実施

・マナーUPキャンペーンの実施

(2) 東北支部

・支部総会・懇親会の開催

・支部セミナー等の開催

・新規会員の入会懇渾

・地球温暖化防止キャンペーンの実施

・マナーUPキャンペーンの実施

・東日本大震災5年目を迎え、復興に向けたさらなる支援活動

(3) 首都圏支部

・地球温暖化防止キャンペーンの実施

・鉄道広告実務研修の実施…

8月下旬から9月上旬

・セミナーの開催…

7月、10月、2016年2月の3回

・支部総会・懇親会の開催…

7月6日 ホテルメトロポリタン

・地域間交流の促進

・新規会員の入会懇渾

・マナーUPキャンペーンの実施

(4) 中部支部

・支部総会・懇親会の開催…

7月予定

・支部セミナーの開催…7月予定

・媒体等視察研修の実施

・学生インターン・調査研究事業の実施

・支部会員交流会の開催

・地球温暖化防止キャンペーンの実施

・マナーUPキャンペーンの実施

(5) 近畿・中国・北陸支部

・幹事会の開催…

7月、2016年3月予定

・支部総会・懇親会の開催…

7月予定

・支部セミナーの開催…7月予定

・交通広告実務研修会…9月予定

・地球温暖化防止全国キャンペーンの実施

・マナーUPキャンペーン実施に向けての推進

・業界諸団体との連携

(各媒体社広告会・OAAA・関西交通広告協議会等)

・新規会員の入会懇渾

(正会員、賛助会員)

(6) 四国支部

・支部総会・懇親会の開催…6月

・地球温暖化防止キャンペーンの実施

施…8月

・視察研修会の開催…10月

・支部会員交流会の開催…

2016年1月

・マナーUPキャンペーンの実施

・新規会員の入会懇渾

(7) 九州支部

・支部総会・懇親会の開催…12月

・支部セミナーの開催…12月

・支部運営会議の開催…

4月、11月、2016年3月

・西鉄交通広告会、福岡市地下鉄交通広告会、九州鉄道広告会との連携

・地球温暖化防止キャンペーンの取り組み

・マナーUPキャンペーンの実施

・JAFRANNEWSへの掲載及び

本部各委員会との連携強化

・新規会員の入会懇渾

3. 今後の協行事計画

6月29日(月)

・定期総会

ホテルメトロポリタンエドモント

(万里の間)

セミナー(悠久の間)

懇親会(万里の間)

・理事会

第1回 6月11日(木)

(株)ジェイアール東日本企画 会議室

(6月10日より日程変更)

第2回 11月(期日未定)

第3回 2016年3月(期日未定)

第2号議案

平成26年度決算(見込)

および平成27年度予算(案)

田之上専務理事から説明があり、
本議案は説明通り承認された。

第3号議案

新規会員の入会承認

以下の2社の入会希望があり、提出された会社概要等について審査したところ、問題がないため、平成27年4月1日付で入会を承認することとしたいと田之上専務理事から説明があり、承認された。

社名…(株)キョウエイアドインターナ

シヨナル 高松営業所

正会員(四国支部)

代表者…川竹 勝己

所在地…香川県高松市

社名…(株)オリコム 大阪支社

正会員（近畿・中国・北陸支部）
代表者…榎村純
所在地…大阪府大阪市中央区

報告事項①

第5回「鉄道利用マナーUPキャンペーン」実施状況

現在、国土交通省等と連携し実施している「第5回鉄道利用マナーUPキャンペーン」について以下の通り田之上専務理事より報告があった。

1. キャンペーンのテーマ

○ホーム転落事故0（ゼロ）へ。

○座席の利用マナー向上へ。

2. キャンペーンのねらい

○『ひと声マナー』はじめるよう』をキーワードとして、テーマごとの2種類のポスターを制作

○「目が不自由な方へのお手伝いする」「妊娠されている方などへ席を譲る」ための「ひと声」を具体的に例示

○全国の鉄道事業者等と連携し、駅や車内でポスターを掲出するなど、様々な周知媒体を活用して、多くの人々に目に触れる機会を大幅に増やす

↓鉄道利用者等に対して、「ひと声マナー」の必要性を認識してもらい、実際の行動（声かけ）につなげていく

3. 期間

2015年2月1日（日）～2015年4月30日（木）の3ヵ月間

4. 告知媒体

①駅貼りポスター（B1、B2）各2種

②車内ポスター（B3）2種
（印刷費・発送費は当協会負担）

5. 参加事業者、団体（85社局、2団体）

JR北海道、JR東日本、JR東海、JR西日本、JR四国、JR九州、東武鉄道、西武鉄道、京成電鉄、京王電鉄、小田急電鉄、東京急行電鉄、京浜急行電鉄、東京地下鉄、相模鉄道、名古屋鉄道、近畿日本鉄道、南海電気鉄道、京阪電気鉄道、阪急電鉄、阪神電気鉄道、西日本鉄道、新京成電鉄、北大阪急行電鉄、泉北高速鉄道、山陽電気鉄道、札幌市交通局、仙台市交通局、東京都交通局、横浜市交通局、名古屋市交通局、京都市交通局、大阪市交通局、神戸市交通局、福岡市交通局、函館市企業局、仙台空港鉄道、会津鉄道、北越急行、上田電鉄、アルピコ交通、富山ライ

トレール、北陸鉄道、鹿島臨海鉄道、秩父鉄道、銚子電鉄、流鉄、北総鉄道、東葉高速鉄道、山万、千葉都市モノレール、埼玉高速鉄道、埼玉新都市交通、首都圏新都市鉄道、東京モノレール、東京臨海高速鉄道、ゆりかもめ、多摩都市モノレール、江ノ島電鉄、箱根登山鉄道、伊豆箱根鉄道、横浜高速鉄道、湘南モノレール、横浜シーサイドライン、富士急行、静岡鉄道、京福電気鉄道、北近畿タング鉄道、能勢電鉄、水間鉄道、和歌山電鉄、大阪高速鉄道、北神急行、神戸電鉄、水島臨海鉄道、岡山電気軌道、筑豊電鉄、甘木鉄道、平成筑豊鉄道、北九州高速鉄道、島原鉄道、熊本電鉄、南阿蘇鉄道、くま川鉄道、鹿児島市交通局
日本民営鉄道協会、日本鉄道広告協会

報告事項②

技術開発委員会の活動状況について、



技術開発委員会坂田委員長

田之上専務理事から報告があった。
（この件については、本号P12の「委員会便り」に詳細を掲載）

報告事項③

「e-販促システムリニューアル」進捗状況について、田之上専務理事から以下の通り説明があった。

○稼働状況

・月約1600件前後のアクセス数で順調に稼働し推移。

ログイン数

	会員	一般	計
11月	1,598	5	1,603
12月	1,385	13	1,398
1月	1,716	8	1,724
2月	1,634	33	1,667

○システム改修

1. 改修内容

・[Station AD Planner]

①逆引き及びダイレクト検索機能追加

- ② 媒体の追加（SP媒体、大型ボード）
- ③ 共同媒体の検索方法の変更
- ④ 到達人員／乗降者数／施設データ等の調査年月日／ポリシーを明記
- ⑤ 施設データの収録距離の修正
- ⑥ 施設データの追加（現在190業種に10業種追加）

・「Train AD Planner」

- ① 路線図の追加（福岡地区、札幌地区）
- ② 到達人員／乗降者数／施設データ等の調査年月日／ポリシーを明記

- 2. 改修時期
2015年4月使用開始予定で作業中

○システム説明会の予定

新システムの改修内容告知と交通広告従事者2～3年目の方を中心にシステム説明会を5月頃開催する予定

報告事項④

アカウンタビリティ向上の進捗状況について田之上専務理事から以下の通り説明があった。

- 1. 「共通指標推定モデル」及び「推定システム」の完成に伴う報告と説明会

「中づり」「まど上」「ドア横」の3

ユニットに関する「共通指標推定モデル」「推定システム」の完成を受け、プロジェクト内での報告と会員社及び外部団体に対する説明会等を実施します。

3月10日（火）

アカウンタビリティ向上委員会幹事会

3月13日（金）

交通広告共通指標推進プロジェクト

3月16日（月）

会員社への説明会

弘済会館で開催される首都圏支部主催のセミナー終了後、説明会を実施。他支部等にはDVDに収め配布し周知を図る。

3月9日（月）

日本アドバイザーズ協会への説明

3月19日（木）

日本広告業協会への報告と説明

3月25日（水）

プレスリリース 国交省記者クラブ、都庁記者クラブ、その他業界誌向けにリリース予定。

（プレスリリースはJAFRAホームページにも掲載）
http://j-jafr.jp/new/pdf/150325_pressR.pdf

2. 今後の指標策定スケジュール（予定）
4月 交通広告指標推定システム発表、稼働

3月～6月 平成27年度分調査実施・駅メディア調査の検討を継続



アカウンタビリティ向上委員会正盛委員長

また、正盛委員長から次のとおり補足説明があった。

3 ユニットだけではありますが、この4月からいよいよ「交通広告共通指標推定システム」を始動することにごぎつきました。2012年夏に委員会がスタートして3年弱を重ねました。このプロジェクトに各社からメンバーを出していただいたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。3月9日にアドバイザーズ協会へも報告をしました。これは事務局とSP委員会委員長へ報告を済ませたということで、会員に向けての説明会は5月か6月に開催する

予定です。この報告に关しましては、業界としての共通のスコアができたということと評価をいただいています。3月25日発表のプレスリリースはこの共通指標推定システムを利用することで何ができるのかということと、広告主も分かるようなポイントを整理する必要があるのではないかとこのご指摘をいただきましたので、その点につきましては、今手直しをしております。首都圏支部のセミナーと併せてということで、対象が首都圏支部会員に限られますが、3月16日（月）に関する説明会を開催します。その時は、実際にデモンストレーションをしながら説明いたします。このリリースに書いてあるような「カテゴリースコア」とか「適性件数」とはなんですかといった専門的なことについては理解しにくいと思いますが、その部分につきましてはプロジェクトメンバーが説明してもセミナーの様子をDVDに収録いたしますので、各支部にお配りし、ご要望などがありましたら、今後どのように対応するかはまた検討対応させていただきます。来年度の予算の中にも利用社1社5万円で20社が組み込まれています。アドバイザーズ協会からの要望で足かけ4年でやっとスタートするシステムで



以上をもって今本議長は、16時34分「平成26年度第3回理事会」の閉会を宣言した。

平成27年度理事会・総会の案内について、田之上専務理事から説明があった。(第3号議案3. 今後の協会行事計画の項目参照)

報告事項⑤

ですので車内メディアを扱っている各社は、極力ご加入をお願いしたいと思います。

技術開発委員会

情報交換会を開催しました

2月27日(金) J R恵比寿ビル10F大会議室において、今年も技術開発委員会主催の情報交換会を開催し

坂田英洋委員長挨拶

今日の情報交換会には大勢の皆さまにご参加いただいております。また、皆さまには日頃技術開発委員会にご協力いただいております。改めてお礼を申し上げます。

技術委員会では今年のテーマとして、スマートホンと鉄道広告を連動させたプロモーションが何かできないか、デジタルサイネージの最新情報の共有化、さらなるネットワークの活用、検討、どんどん進化するICT技術と鉄道広告の融合性についても検討を進めていくところです。

昨年の日本の広告費は3年連続で前年を上回り、6年ぶりに6兆

委員会便り

ました。

この交換会は非常に人気が高く、今回も67名の方にご参加いただき満員の会場は熱気にあふれていました。

カリキュラムなどについては以下の通り。

円台に達しました。また鉄道広告費も3年連続で前年を上回り2000億円台を2年連続で確保しているというところで順調に回復していると思っております。不安材料がないわけでもありませんが、今年もゆるやかな回復基調で進むということがいわれておりますので順調に進むことを願っております。

今日の講演が鉄道広告の価値を高め、皆様の会社の発展につながることを願っております。



挨拶する坂田委員長

14時00分

開会挨拶

技術開発委員会委員長

坂田 英洋氏

14時05分

演題

「2020年にむけたデジタルサイネージの未来と交通広告の可能性」



デジタルサイネージコンソーシアム 江口靖二氏

講師

デジタルサイネージコンソーシアム

常務理事

合同会社江口靖二事務所 代表

江口 靖二氏

15時20分
演題…
「シリーズ・アド・ビジョン名古屋の
展開と新たな取り組み」



ジェイアール東海エージェンシー 川合勲氏

講師…
株式会社ジェイアール東海エージェ
ンシー 交通広告部 サブリーダー
川合 勲氏

16時10分

演題…

「スペイン、フランスの交通広告等
について」

講師…

株式会社JR西日本コミュニケー
ションズ

技術開発委員会事務局



ジェイアール西日本コミュニケーションズ 土屋樹一氏

土屋 樹一氏

16時55分

閉会挨拶

技術開発委員会副委員長

望月 敏弘氏



閉会の挨拶をする望月副委員長

アカウントビリティ向上委員会

「交通広告共通指標推定システ
ム」が誕生!!



プレスリリースより

理事会での報告並びに3月25日の
プレスリリースのとおり、「共通指標
推定モデル」及び「推定システム」
の完成に伴い、4月1日にホームペー
ジからアクセスしていただけるよう
になりました。
会員社の皆さまの入会をお待ちし
ております。



画像は開発段階のものです

編集後記

開通したばかりの北陸新幹線の最高速度は260km/h、最短で金沢～東京間
は2時間28分、富山～東京間は2時間8分でつながりました。そしてま
もなくゴールデンウィーク!! ということで、海あり山ありの北陸、ここには
日本最大級の落差を誇る称名滝もあります。特に、雪解けの時期には、水
量も豊富で迫力ある名瀑を間近にすることができます。マイナスイオンも
たっぷる発生していますので、一度行かれてはいかがでしょうか。この春
の皆さまのおすすめスポット教えてください。

●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。
information@j-jafra.jp



●会員社の代表者が
変更になった場合など、
変更届はホームページ
(<http://j-jafra.jp>)
の「各種届出書類」に
用意してございますので、ご記入
の上、事務局宛にお送り下さい。
ご協力をお願いします。

●次号Vol.30は6月1日発行予定です。楽しみに。